



# < 脳卒中地域連携パス > - 泉州版 - (患者様用) 兼承諾書 :

様

泉州地域では、脳卒中の状態に応じて、適切な病院や施設で治療やリハビリを受け、在宅復帰を目指していただきます。

急性期病院	リハビリを中心に行う病院			療養とリハビリを担う病院 / 施設	
2~4週間	3つのリハコースを設定			2つのケアコースを設定	
* 軽症の場合、入院期間が短くなることもあります。 * 合併症などで、入院期間が延びることもあります。	* 障害の重症度によりコースを設定します。 * 各コースごとに大まかな入院期間が決まります。			* 様々な事情により在宅復帰が遅れる場合のコース設定です。	
脳卒中という病気自体の治療を行います。病状に合わせて無理なく安全に動きましょう。	集中的なリハビリにより、家庭復帰を目指します。家庭訪問や試験外泊も実施します。			療養しながらリハビリを継続します。状態を検討しながら在宅復帰を目指していきます。	
	軽症リハコース 1~2ヶ月	中等症リハコース 2~3ヶ月	重症リハコース 3~5ヶ月	軽中等症ケアコース	重症ケアコース
	歩行訓練/自立 在宅の準備 動作/食事/言葉の訓練など 色々な動作自立を目指しましょう。	* 家庭復帰困難な場合、入院期間を短縮して対応を検討する場合があります。 * 必要な時期に介護保険の申請		生活リズムをつけましょう。 生活に沿ったリハビリを行いましょ。	
点滴などの治療が終了し、病状が安定したら、転院してリハビリを継続します。	病状により以下のコースを仮選択します。 一人で歩ける ⇒ 軽症リハコース 一人で起きれる ⇒ 中等症リハコース ⇒ 軽中等症ケアコース 一人で座れない ⇒ 重症リハコース ⇒ 重症ケアコース * 入院期間などは、転院先で決定されます。			在宅へ向けての検討も行いましょう。 * 随時在宅復帰の可能性を話し合いましょう。 * 趣味や特技を生かすことも考えていきましょう。	
居住地や空床状況により、転院先を決定します。	在宅復帰が困難な場合、 居住地や空床状況により、転院先（施設）を決定します。			維持期の施設 介護療養型病院 医療療養型病院 介護老人保健施設 など	
<b>在宅（家庭復帰）</b> 介護保険サービスなどを受けていただきながら、安全で、いきいきとした家庭生活を継続してください。介護認定が必要です。かかりつけ医をもちましょう。ケアマネジャーが介護サービス調整役です。	経過中の急変 主に急性期病院へ連携します。				

治療やリハビリ/ケアを遅滞なくスムーズに行うために、泉州の各病院や関係機関でパスを共有し、患者様の情報交換を行います。

より良い連携体制を考えていくために、治療成果などの情報も関係機関で共有し、一定期間の使用薬剤の追跡調査なども実施してまいります。

また、集積したデータについては、泉州での脳卒中診療の業績として、効果的に生かしてまいります。

上記内容について、説明を受け、納得いたしましたので同意します。

年 月 日

氏名（続柄）

説明者

年 月 日

氏名（続柄）

説明者

年 月 日

氏名（続柄）

説明者